



「邂逅」 Photo:Y. Osada

八 レー(英国天文学者 E. Halley)が1682年に出現した尾を引く天体を観察し、1757年に同じ星が再来すると予言しました。当時彗星は「不吉な事が起こる神のお告げ」とも言われ迷信の中にあっただようですが、75年後に彼の予言は的中し、初めて周期彗星の存在が証明されました。

世 界のさまざまな文献を75.3年の周期でさかのぼると、その中に彗星の記録が多く残されていました。秦の始皇帝時代の「史記」の中の「七年、彗星まず東方に出で、北方にあらわれ、五月西方にあらわる」(紀元前240年)も、「日本書紀」の中の天武の条にある「秋7月に東方に長さ7~8尺の星があらわれ・・・」(684年)もハレー彗星の出現を記したものと分かりました。天文学の金字塔とも言える1757年の彗星再来ですが、ハレー自身は自説が証明されるのを見届けることなく、1742年に亡くなっています。

次 回ハレー彗星が回帰するのは2061年の夏と推定されています。九州大学のモデル計算の結果によれば福岡市の熱帯夜は2000年の35日から2050年には85日になるようです。国際的な研究ではそのころまでに地球上の全生物種の4分の1が減びると予想しています。

21世紀の最初の年に産声を上げた人が還暦を迎えるころ、果たして地球はどうなっているのでしょうか?ハレー彗星はどんな地球を見ることになるのでしょうか?

製 品不良を補修あるいは再塗装し良品化するためのエネルギーとコストは、最初から良品が生産された場合に比べて3~5倍を要すると言われています。コーテックでは、製品不良を未然に防ぐための検査機器の活用をみなさんといっしょに考えています。

クラブ
カーブエックス
炉内温度記録計

クラブ
デューチェッカー
デジタル結露計

クラブ
エルコメーター-456
デジタル膜厚計

ただいまお客様の品質管理推進をサポートさせていただくため、カーブエックスやエルコメーター-456を新規にご購入いただいた際に校正証明書を無償でお付けしています。